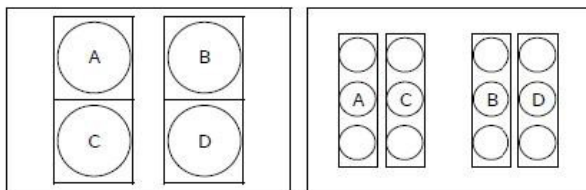


## 競技会へ初めて参加する方へ

1. この競技会は、全日本アーチェリー連盟競技規則（2024～2025）及び東京都アーチェリー協会競技運営安全管理規程を適用します。
2. 18mインドアラウンド60射（30射×2回）を行射します。
3. 競技会の立ち順ならびに成績は [ianseo.net](http://ianseo.net) に掲載されますので、各自ご確認ください。
4. 競技（AB-CD）2立の場合
  - ◎40cm 標的:A立は上段左側、B立は上段右側、C立は下段左側、D立は下段右側を行射します。
  - ◎縦三つ目標的:左から A立は左から1列目、B立は左から3列目、C立は左から2列目、D立は左から4列目を行射します。3つの的はどのような順番で行射してもよい。
  - どちらの大きさの標的面も1標的に1名のみが行射します（各人の的は固定となります）。



### ※競技（AB）1立の場合

- ◎40cm 標的、縦三つ目標的:A立は左側、B立は右側を行射します。
5. 競技開始前に練習の時間があり、3射90秒を2回行います。「AB立:3射、CD立:3射、矢取り」、「CD立:3射、AB立:3射、矢取り」
  6. 競技は3射毎に矢取りを行います。1エンドの行射は3射90秒です。行射順序は「AB立、CD立、矢取り」、「CD立、AB立、矢取り」を繰り返します。競技の進行は、ブザー及びデジタル時計により管理します。ただし、時間制限に関してはブザーの音響を優先します。
  7. 相互採点を行った後、的中孔チェックを行ってから矢取りをしてください。
  8. 用具故障が発生した場合はただちに後方審判に伝えてください。用具故障による補充矢を行射する時間は、3本3エンド以内とします。
  9. この競技会では、入力端末による得点集計補助システム（イアンセオ）を使用します。Ianseoの入力の仕方のページが後にあります。成績はイアンセオの入力より紙のスコアカードが優先されますので、スコアカードをしっかりと記入しましょう（スコアカードの書き方参照）。
  10. 各部の競技終了後、確認用成績を [ianseo.net](http://ianseo.net) 上に掲載して異議申し立ての時間を設けます。異議申し立て時間以降の得点に関する疑義は認めませんので注意してください。

安全指導（公社）全日本アーチェリー連盟競技規則「安全規程第8章」及び  
（公社）全日本アーチェリー連盟競技規則第205条第19項に記載の事項  
の徹底  
指導内容

1. 競技開始前、審判長から「引き分け、引きもどし」「セーフティーゾーン」「矢が畳をそれた場合」について、具体的に注意喚起をします。
2. 競技開始後は、後方審判員が「引き分け等が危険」と思われる選手に直接注意（警告）します。
3. それでも改善されない場合には、審判長に報告し、競技委員長と協議のうえ競技続行を禁止する場合があります。
4. 矢が畳からそれた選手に関しては、そのエンドのうちに必ず申告させ、それた矢の所在が確認できないうちは試合の進行をストップすることもあります。全選手に対し矢取り後に、矢の本数を確認させます。
5. セーフティーゾーンを越える場所に矢を射った選手は、その時点でその日の試合に関しては競技続行中止を命じます。
6. 的から矢を多く外す選手には、審判長、競技委員長と協議のうえ競技続行を中止する場合があります。
7. その他、安全を脅かす行為をした選手・観客等に対しては、競技委員長・DOS・審判長の判断で厳格に対処します。


■■■スコアカードの書き方■■■

◎RC、BBは、インナー10はXと記入せず10点と記入します。

◎CPは、インナー10のみ10点と記入します（アウター10は9点と記入します）。

1. スコアカードに射った矢の得点（素点という）を記入するときは、必ず高い得点から書きます。
2. 相互採点を行う際には、自分の矢の得点を読み上げ、同次の選手に紙のスコアカードに記入してもらいます。得点を記入する選手は、スコアカードに丁寧に記入し、読み上げた得点と相違が無いか確認します。
3. 水や汗で字がにじまないように、黒色か青色の油性のボールペンを使ってください。赤色や水性のボールペンは使用しないでください。
4. 素点を誤って記入した際には、必ず矢を抜く前に訂正をしてください。矢を抜いた後では、訂正できません。誤った点数に線を引き、余白に正しい点数を書き直してから、同次の選手全員のサイン（イニシャルでも可）を書いてください。審判員に訂正してもらっても構いません。
5. 次のような場合は、訂正が必要となります。

（ア）ボールペンがかすれたため、上からなぞり書きをした。〈訂正の仕方〉


〈例〉 


（イ）数字を無理やり他の数字に書き直した。

〈例〉 

6. 数字は丁寧に記入してください。

〈例〉

1 →  7と見分けがつかない

7 →  1と見分けがつかない

9 →  7と見分けがつかない

M →  m

18m	1	2	3	小計	累計	10	9
1	10	9	8	27		1	1
2	9	9	8	<del>25</del> 26	53		2
3	10	<del>9</del> 10	9	29	82	2	1
合計点（小計点）の訂正サインは必要ありません。							

花子 太郎 次郎 三郎

7. 30射終了毎に、競技者サイン、記録者サイン、合計点、10点本数、9点本数などの項目をすべて記入します。総計行のすべての欄が記載されていることを確認の上、審判員に紙のスコアカードを提出してください。前半終了時には1枚目のスコアカード、後半終了時には2枚目のスコアカード、バインダー、入力端末を返却してください。



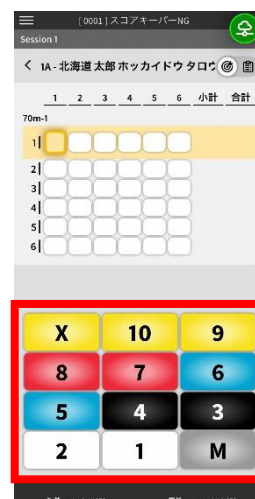
# Ianseo Scorekeeper NG アプリ 利用方法



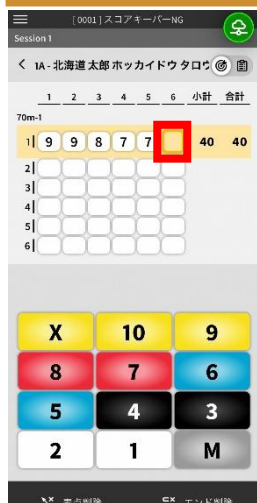
端末の電源を入れて ianseo アプリ（左上のマークのアイコンがあります）を開いてください。その後はこの利用方法のとおり動かしてください



入力したい選手の名前を選択



選手のスコアを入力



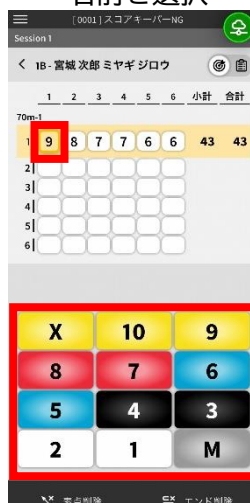
エンドの最終射まで入力すると自動でメイン画面へ戻



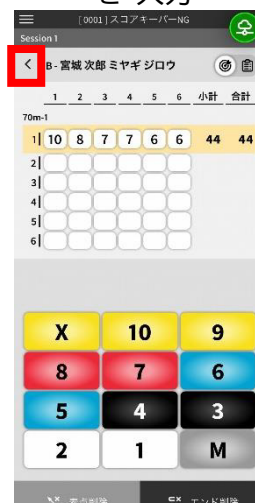
各選手に対して同じ入力操作を繰り返す



スコア修正をする場合は選手名をタップする



修正したい部分を選択し、正しいスコアを入力する



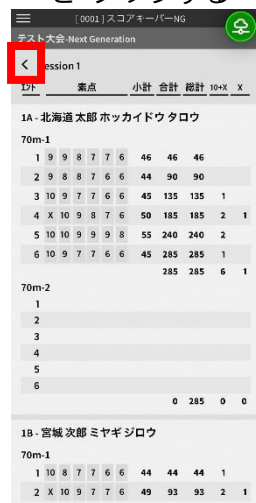
完了したら、左上のボタンでメイン画面に戻る



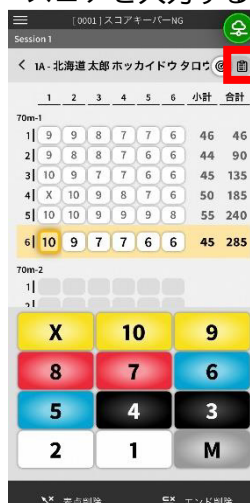
メイン画面



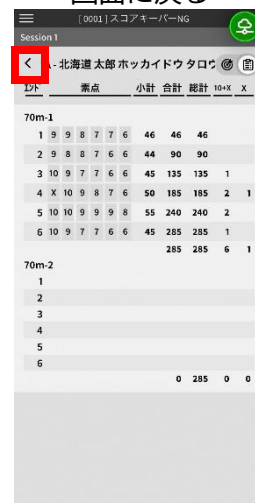
右上から累計点の表示に切り替え



左上のボタンでメインに戻る



スコア入力中も累計点表示が可能



左上のボタンでメインに戻る

Ianseo は電子装置のスコアカードです。手書きのスコアカードに記載された素点が公式の得点となります。

